関係法令等

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学習指導要領 等

各教科の指導の重点

国語科

言語活動を充実させ、言葉による見方・考え方 を働かせ、国語で正確に理解し、適切に表現す る資質・能力の育成を図る。

社会科

・問題解決的学習を重視し、社会的な見方・考え 方を働かせ、社会的事象の地理的理解・歴史的 理解・多面的理解を深め、公民としての資質・ 能力を養う。

算数科

・ 個々の児童の習熟度に応じた指導計画を 立 て、数学的な見方・考え方を働かせ、基礎・基 本の定着と数学的に考える資質・能力の育成 を図る。

理科

・問題解決学習・体験的な学習を充実させ、理科 の見方・考え方を働かせ、科学的に解決する ために必要な資質・能力の育成を図る。

生活科

• 具体的な体験を重視し、身近な生活に関心を もたせることで、知的気付きへと拡充・深化さ せ、生活上必要な資質・能力を育成し、自立へ の基礎を養う。

音楽科

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方 ・考え方を働かせ、音や音楽と豊かに関わる資 質・能力を育て、豊かな情操を養う。

図画工作科

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な 見方・考え方を働かせ、創造的な資質・能 力を育て、豊かな情操を養う。

家庭科

・ 実践的・体験的な活動を通して、生活の営 みに係る見方・考え方を働かせ、日常生活 を工夫する資質・能力の育成を図る。

体育科

・課題を見付け、その解決に向けた学習を通して、 体育や保健の見方・考え方を働かせ、運動に親 しむ資質・能力を養う。

道徳科

・自己の生き方について考えを深める学習を通し て、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 を育てる。

外国語科

指導内容·指導

・外国語を通して、言語やその背景にある文化に 対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体 的に外国語を用いてコミュニケーションを図 ろうとする態度を養う。

教育課程編成上の

学校教育目標

- よく考え進んでやりぬく子
- ・仲よく力を合わせる子
- ・健康で明るい子

な 学 力 確 か 健康な体と心 技能・表現 興味・関心 思考・判断 音欲 情報処理能力 基礎 • 基本 課題設定力 態度 探究力 自己評価力. 体力

総合的な学習の時間の指導の重点

- ・自ら課題を見付け、学び、考え主体的に解決す る力を養う
- ・探究的な見方・考え方を働かせ、教科等の横断 的・総合的な学習を通して、自己の生き方を考 えていくための資質・能力を養う。
- 地域の教育力を取り込み、練馬大根の栽培に取 り組ませることなどを通して、地域を大切にす る心を養う。

外国語教育の重点

• 外国語によるコミュニケーションにおける見方 ・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話 すことの言語活動を通して、コミュニケーショ ンの資質・能力を養う。

キャリア教育の重点

- 児童一人一人の能力や適性を把握し、自己の将 来に希望や夢がもてるように指導・援助する。
- 進路指導講演会を教育課程に位置付け、ゲスト ティーチャーの話から自分の夢をもち、育める ようにする。
- ・12年間の自己の変容や成長を捉え、自己のキャ リア形成に生かすため「キャリアパスポート」 を活用する。

学校・保護者・地域

- 教職員 • 児童
- 保護者
- 地域 社会

道徳教育の指導の重点

- 道徳科の充実を図り、道徳的 価値の理解を深め、児童の自 覚を促し道徳性を育む。
- ・全教育活動を通して、よりよ く生きるための基盤となる道 徳性を養う。

小中連携の重点

- ・中学校区別協議会などを通し て、小中の交流や情報交換を密 にする。
- ・課題改善カリキュラムの作 成を通して、系統的・連続 的な教科指導・生活指導に 取り組む。

生活指導の重点

- 意欲的・主体的に生活でき る児童を育てる。
- ・正しい言葉遣いや挨拶する ことなどの基本的な生活 習慣を身に付けさせる。

特別活動の指導の重点

様々な集団活動に自主的。 実践的に取り組み、互いの よさや可能性を発揮しな がら集団や自己の生活上 の課題を解決することを 通して、集団や社会の形成 者としての見方・考え方を 働かせ、様々な集団での行 動の仕方を身に付け、合意 形成や意思決定を行い、自 己実現を図る資質・能力を 養う。

幼保小連携・小中一貫

体校の授業改善に向けた視点

評価活動の

家庭や地域社会との

修の工夫 連携の工夫 方法の工夫 工夫 工夫 教育の視点 ・朝読書や団体貸し出しの活 ・道徳科の授業を通して、本 • 全学年算数科習熟 ・単元ごとの評 年間9回の十曜授業参観 中学校区別協議会の教科 度別指導の実施 校の研究主題である「自ら 価計画の作成 ・学校公開の実施 領域別分科会の授業実践 用など読書活動の充実 ・発展的・補充的な を見つめ、共によりよい生 と活用 ・家庭との連携や家庭学習 ・中学校区別協議会では課題改善 読書旬間の取組や休 学習の工夫 き方を考える子の育成」の 一人一人の学 の充実 カリキュラムの取組状況や課題 み時間の図書委員 ・学習を支える指導 研究の推進 習上のよさと ・ 外部評価を授業改善に活 の情報を交換 による読み聞かせ 技術の向上 ・教科・指導力向上研修の積 課題の把握 用 ・「目指す15歳の姿」「豊 算数科習熟度別指導 ICT機器等の教 極的実施 授業の自己点 ・道徳授業地区公開講座の かな心の育成」に向けた が実施しやすい時 ・日常的0JTと夏季休業日等 材教具の有効な 実 施 取 組 間割編成 を利用したOFF-JT研修の ・ 外部評価の工 学校地域連携事業の推進 活用 ・ 小 中 連 携 ク リ エ ー タ ー の 体験的・問題解決 教科発展型の総合的 実施 夫 (未来塾等) 定期的交流 的な学習の工夫 ・小中一貫教育の充実 外部人材の活用 な学習の時間の単 ・幼稚園・保育園との交流 ・課題改善カリキュラムを活 (保護者による読み聞かせ 元設定 授業の実施 用した日々の授業実践 ・地域の方の協力による栽 培活動、PTA主催の漢字検 授業改善策の検証方法:日々の授業の見直し。小中連携での検証授業の実施。課題改善カリキュラムを踏まえた校内研究。

校内における研究や研